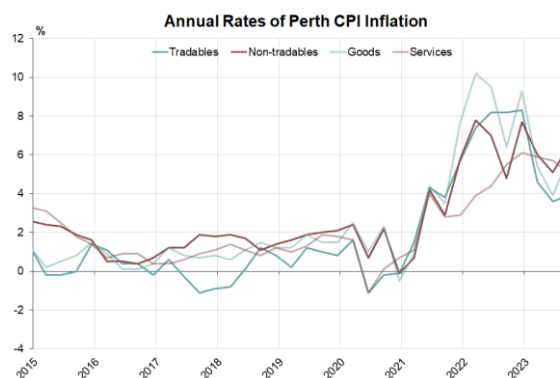
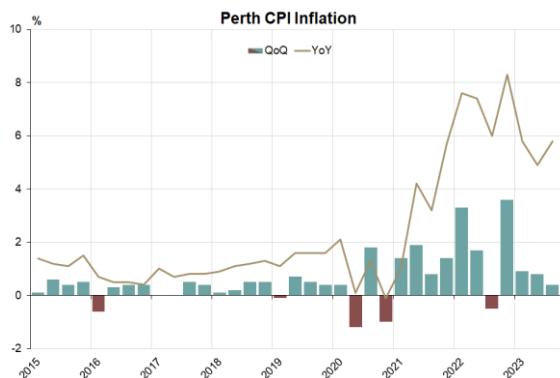


● **西オーストラリア州今月のデータハイライト**

- 第3四半期のパース CPI 上昇率は**0.4%**と、首都の中では最も低く、年間 CPI 上昇率は**5.8%**となった。
- 西オーストラリア州の9月の失業率は**3.3%**に低下し、全州で最低となった。
- 西オーストラリア州の9月の小売業は前年比**0.1%**増、前年同月比**3.0%**増となった。
- パースの住宅価格は10月に**1.6%**上昇し、通年で**10.8%**上昇、過去最高を記録した。

パース CPI - 2023 年第3四半期

- 2023 年第3四半期のパース CPI は**0.4%**上昇し、年間消費者物価上昇率は**5.8%**となった。
- - 第3四半期の消費者物価指数 (CPI) 上昇率は、首都圏の中で最も小さかった。この比較的小さな消費者物価の上昇は、連邦および西オーストラリア州のエネルギー補助金が他州より手厚いため、電気料金の自己負担額が減少したことを反映しており、電気料金の**44.6%**の下落につながった。
- 保育料が**12.4%**減少し、全首都平均の**13.2%**とほぼ同水準となったが、これは保育料の値上げと保育補助の対象が増えたためである。補助金がなければ、全国の保育料は**6.7%**上昇していたと考えられる。
- 四半期ごとのパース CPI 上昇に大きく寄与したのは、自動車燃料価格 (**7.6%**)、持ち家による新築住宅購入 (**3.0%**)、家賃 (**2.7%**)、保険 (**6.3%**) の上昇であった。
- 当四半期の賃貸費用の上昇は、自己負担額を減少させる連邦の家賃補助の増加により緩和された。家賃のサブインデックスは前年同期比**9.0%**上昇したが、新築住宅購入費は同**4.6%**上昇した。
- 年間インフレ率が**5.8%**に**0.9ppts**加速したのは、西オーストラリア政府が従来の家庭向け電力クレジットを展開した2022年第3四半期からのベースが低かったためである。その結果、2023年第3四半期の指数では、電気料金は前年比**263.4%**上昇した。一部の食料品、特に乳製品の価格も2023年第3四半期までの1年間で大幅に上昇している。
- 住宅を除く消費者物価指数 (住宅には電気料金を含む) は前期比**1.1%**上昇し、前年同期比**4.7%**上昇した。
- - 第3四半期のパース CPI は食品とエネルギーを除いて**1.2%**上昇した。消費者物価上昇率は、変動項目を除いた CPI が**0.1%**の上昇に留まっていた一方で、年率**4.5%**と、2021年第4四半期以来の低水準に鈍化した。
- 国内要因に左右される非貿易財インフレ率は年率**1.3ppts**の**6.4%**に加速したが、これはベース効果によって歪められた。貿易品インフレ率は年率**0.3ppts**増の**3.9%**だった。



Source: ABS

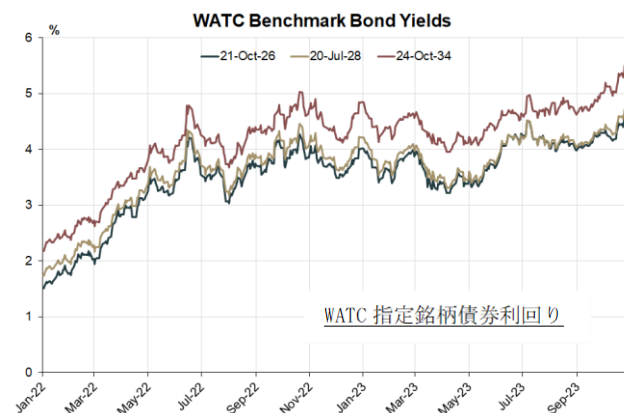
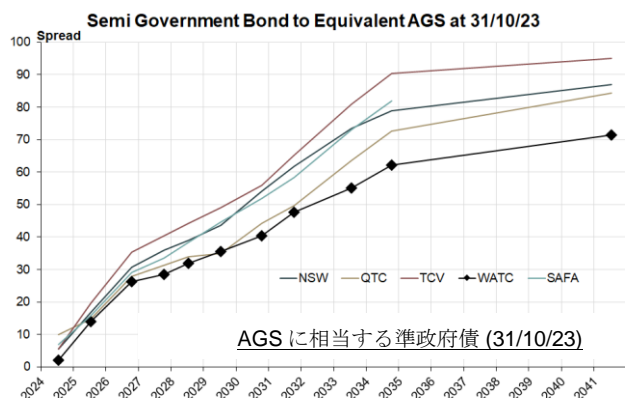
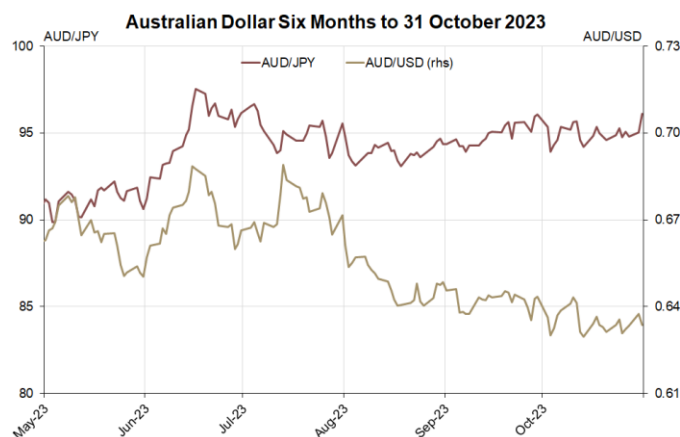
オーストラリア金利(%)		為替と株価	
RBA 政策金利目標	4.10 (0 pt)	AUD/USD	0.6337 (↓1.5%)
90 日銀行手形	4.35 (↑21 pt)	AUD/JPY	96.13 (↑0.1%)
連邦政府 3 年国債	4.40 (↑32 pt)		
連邦政府 10 年国債	4.92 (↑44 pt)	ASX200	6781 (↓268 pt)

市場状況

- 10 月の豪州国債利回りは、世界の国債利回りに追従して上昇を続けた。世界的な国債売りの背景には、米国の供給増に対する懸念が強まったこと、および経済状況が底堅く、デフインフレが緩やかであるため、中央銀行が金利を高水準に長く維持する必要があると認識したことがある。RBA の現金金利予想は 10 月に上昇し、11 月の会合で 4.35% への 25bps 引き上げが予想されるようになった。これは、10 月下旬に RBA がタカ派的な基調を打ち出したことと、第 3 四半期の消費者物価指数 (CPI) が上方サプライズとなったことを受けたものである。
- 10 月の豪ドルは対ドルでは 3 ヶ月連続で下落したが、対円では横ばいとなった。ハマスによるイスラエル攻撃と中東における暴力のさらなる激化を受け、金融市場のボラティリティが上昇したことが重荷となった。
- 10 月の豪州株式市場はさらに 3.8% 下落し、月末にかけて 1 年以上ぶりの安値水準に達した。下落幅は幅広く、情報技術セクターが牽引し、原油価格が上昇する中で唯一上昇したのが公益セクターだった。

WATC 指定銘柄債券株利回り		
満期	利回り 31/10/2023	AGS スプレッド 29/09/2023
23 July 2024	4.49 (↑22 pt)	+2 pt (↓5 pt)
23 July 2025	4.64 (↑27 pt)	+14 pt (↓9 pt)
21 October 2026	4.66 (↑37 pt)	+26 pt (↓5 pt)
21 October 2027	4.75 (↑46 pt)	+28 pt (↓9 pt)
20 July 2028	4.83 (↑47 pt)	+32 pt (↓9 pt)
24 July 2029	4.97 (↑52 pt)	+36 pt (↑11 pt)
22 October 2030	5.15 (↑53 pt)	+40 pt (↑11 pt)
22 October 2031	5.30 (↑55 pt)	+48 pt (↑12 pt)
20 July 2033*	5.43 (↑57 pt)	+55 pt (↑12 pt)
24 October 2034	5.61 (↑60 pt)	+62 pt (↑15 pt)
23 July 2041	5.99 (↑53 pt)	+71 pt (↑7 pt)

* グリーン・ベンチマーク債。



ここに記載された全ての見解・判断・結論・予想・予測または評価は、弊社が信頼に足るものと判断した情報から構成されております。しかしながら、弊社は、情報の正確性を保証するものではありません。したがって、弊社としましては、誠意をもってこれらの提案をいたしておりますが、全ての決定権は貴方にあり、慎重にご検討されるようお願い致します。また、これらの提案は、特定の事項に関する専門的助言に代わるものではありません。これらの提案を受諾または拒絶する際には、事前に具体的な要望や状況に関し、必ず弊社にご相談ください